TOSHIBA

東芝照明器具

ネオスリムV スリムスクエア

天井直付シーリングライト

取扱説明書

＜商品概要＞

- ■スクエア形蛍光灯「ネオスリムZスクエア」ランプ搭載
- ■リモコン
- ■インバーター（高調波ガイドライン適合品）
- ■プルスイッチレス機能搭載

器具形名	
本体形名	

お客様へ

●このたびは東芝照明器具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

●この商品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●本書は必ず保管してください。

工事店様へ

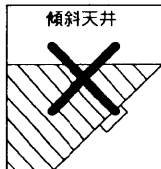
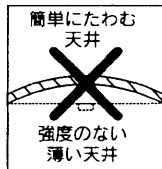
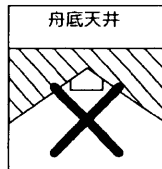
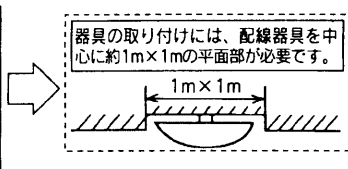
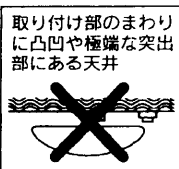
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

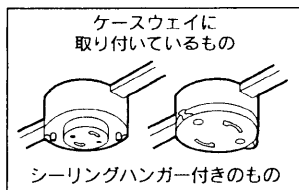
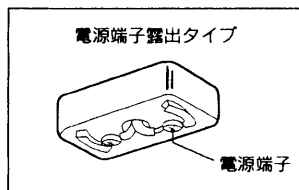
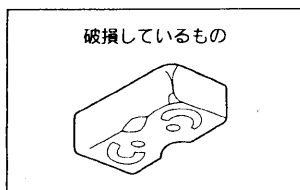
もくじ

■安全上のご注意

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●次のような場所には取り付けないでください。（この器具は天井取付専用です。）

	指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。

●次のような配線器具（引掛シーリング）には取り付けないでください。

	火災・感電・落下してけがの原因となります。 次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。 （※素人工事は法律で禁じられております。）

※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

	火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

	火災の原因となります。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

	この器具は非防水です。 火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

	高温になっています。 やけどの原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

●調光器（当社商品名コントルクスなど）が取り付いた配線で使用しないでください。

	この器具は、調光器が取り付いた配線での使用はできません。 器具や調光器からうなり音が発生したり、正常に点灯しない原因となります。 調光器の取り外しを電気工事店に依頼してください。 （※素人工事は法律で禁じられております。）

●交流100V以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

●天井の材質や構造によっては天井面が変色する場合があります。

●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ C8105-1解説による。）

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

❗異常が生じた場合は、電源を切ってお買い上げの販売店（工事店）、東芝家電修理ご相談センター（保証書に記載）にご相談ください。

<生産完了 2007年10月01日>
FSH99001R (2/8)

■各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、
お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

ネオスリムV スリムスクエア

又は

引掛シーリング
(付属されていない商品もあります。)

アダプタ

受光部
・リモコン送信器から出た赤外線を受信します

本体

常夜灯

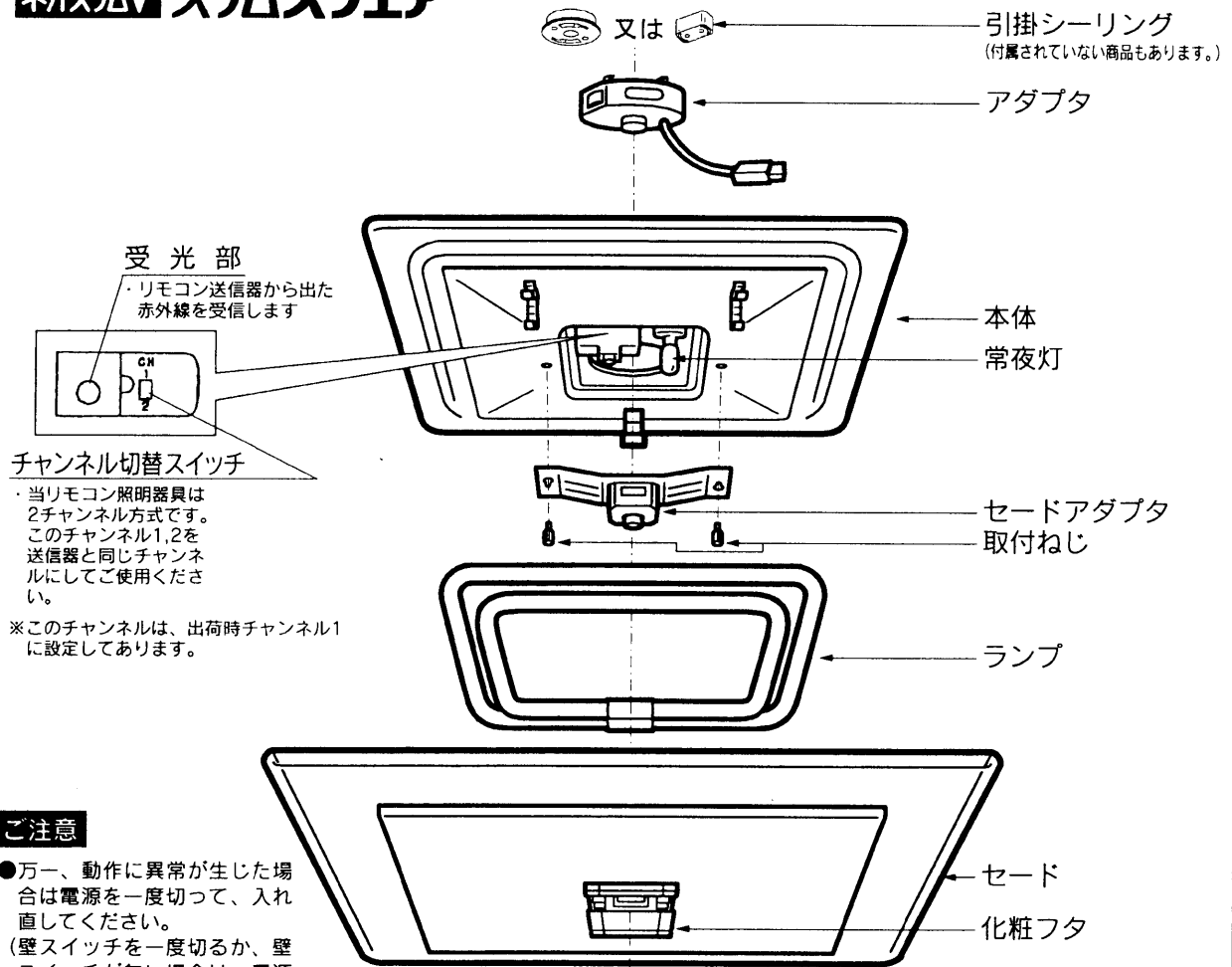
チャンネル切替スイッチ
・当リモコン照明器具は2チャンネル方式です。このチャンネル1,2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。
※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

セードアダプタ

取付ねじ

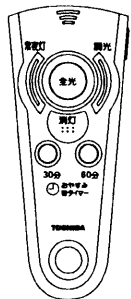
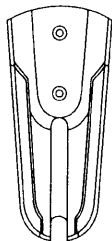
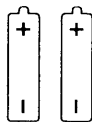
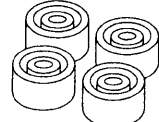
ランプ

セード

化粧フタ

ご注意

●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し取り付け直してください。)

器具により枠に天然素材、手作り品を使用している製品があります。
天然素材、手作り品のため、カタログと色が多少異なる場合や形状にバラツキが発生する場合があります。

■付属部品

■仕様

器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　合　ラ　ン　プ
90W形	AC100V	50/60Hz共用	87W	約1W	FHG40、FHG50 常夜灯100V5W

■器具の取り付けかた ※取り付けの際は必ず電源を切ってください。

1. 天井の配線器具を確認する

器具を取り付ける天井に図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。

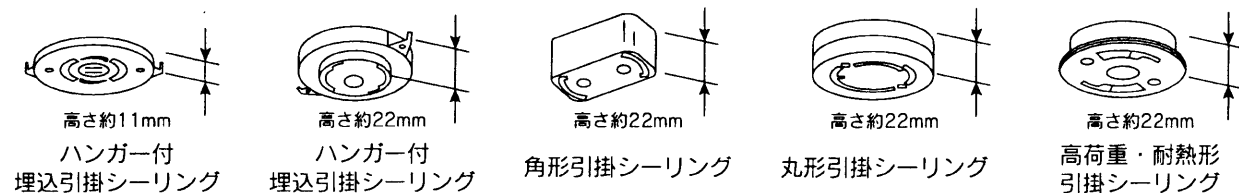
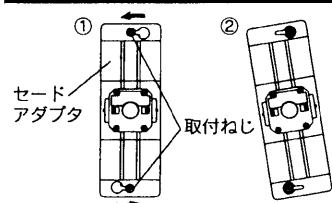
・取付可能な配線器具 (JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適応できます。)

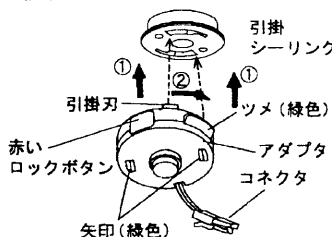
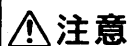
高さ約11mm
ハンガー付
埋込引掛シーリング

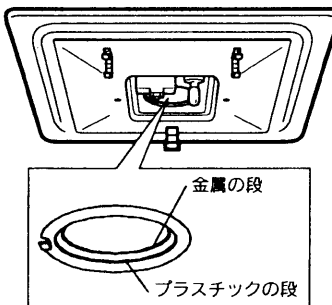
高さ約22mm
ハンガー付
埋込引掛シーリング

高さ約22mm
角形引掛シーリング

高さ約22mm
丸形引掛シーリング

高さ約22mm
高荷重・耐熱形
引掛シーリング

2. セードアダプタを取りはずす ※セードアダプタを取りはずさないと器具を取り付けることはできません。

① 取付ねじをドライバーなどでゆるめます。
(取付ねじを取りはずす必要はありません。)
矢印の方向にセードアダプタを回転させます。
② セードアダプタを照明器具より取りはずします。

3. アダプタを取り付ける

① 引掛シーリングへ2本の引掛刃を挿入します。
② "カチッ" と音がするまで右に回します。

⚠注意	赤いロックボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。 アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

4. 本体を取り付ける ※本体裏面のビス先端部に触れないように注意してください。強く触れるとけがの原因となります。

① 本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて "カチッ" と音がするまで本体をまっすぐに押し上げます。
※コードをはさみ込まないように注意してください。

埋込引掛シーリングの場合   (高さ約11mm)

1段階押し上げてアダプタのツメを金属の段に取り付けてください。

角形・丸形引掛シーリングの場合   (高さ約22mm)

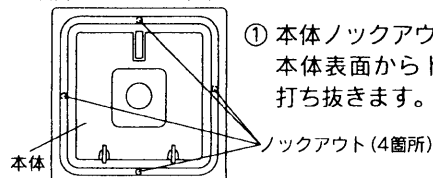
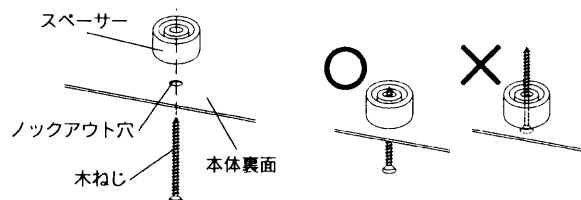
2段階押し上げてアダプタのツメをプラスチックの段に取り付けてください。

②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。

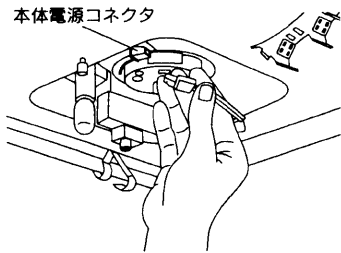
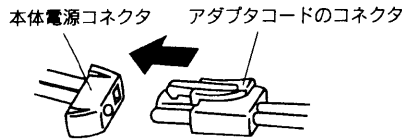
⚠警告	黒い矢印の先端に緑の矢印の先端がくるまで本体を押し上げてください。 本体の取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

※器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

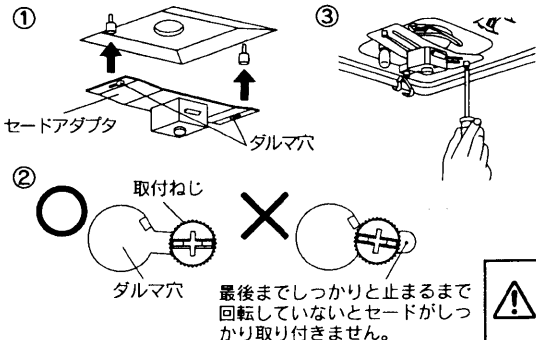
本体を木ねじで固定する場合

本体が安定しない場合は、木ねじで固定してください。
木ねじで固定する場合は付属のスペーサー(4個)と木ねじ(4本)を使用します。
※引掛シーリングに本体が確実に取り付いている場合は必要ありません。

① 本体ノックアウト(4箇所)を本体表面からドライバーで打ち抜きます。

② スペーサーを木ねじで仮止めします。
このとき、木ねじの先端が少し出る程度で仮止めしてください。
③ アダプタに本体を取り付けてから、木ねじで本体を固定します。

<生産完了 2007年10月01日>

5. コネクタを接続する

アダプタコードのコネクタを本体電源コネクタに差し込みます。

⚠注意	抜けないことを確認してください。

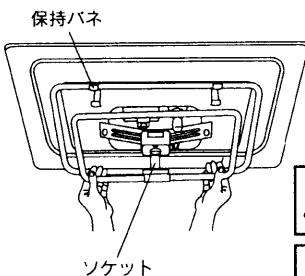
6. セードアダプタを取り付ける

最後までしっかりと止まるまで回転していないとセードがしっかり取り付きません。

① 本体の取付ねじをゆるめます。

② セードアダプタのダルマ穴に取付ねじを通し、
右側に最終までしっかりと止まるまで回転させます。

③ 取付ねじをドライバーでしっかりと固定します。

⚠注意	セードアダプタを本体に確実に取り付けてください。 取り付けが不十分ですと、落下してけがの原因となります。

7. ランプを取り付ける

保持バネ

ソケット

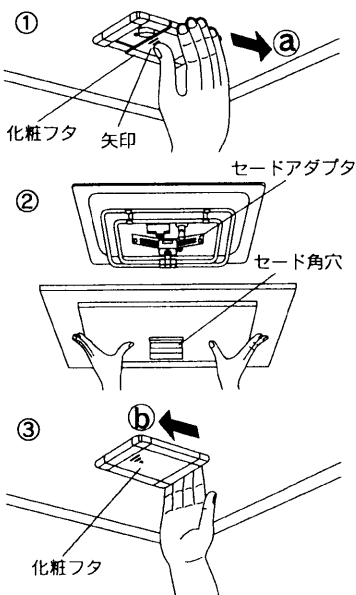
・本体に大きいランプから順に取り付けます。 ※出荷時にランプは本体に取り付けています。

① ソケット

② 保持バネ

の順で取り付けます。

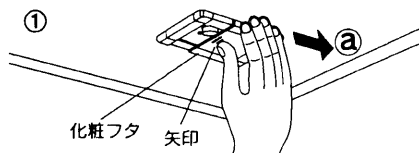
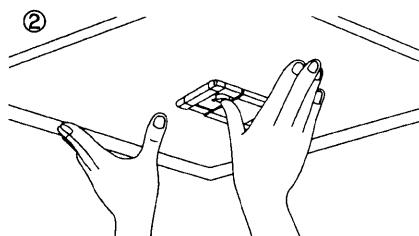
⚠警告	適合ランプ以外は使用しないでください。感電または火災の原因となります。
⚠注意	ランプの口金は、無理に回さないでください。破損の原因となることがあります。
⚠注意	ランプをソケットに確実に取り付けてください。 取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり、火災の原因となります。

8. セードを取り付ける

① セード中央の化粧フタ矢印部分を押しながら、矢印の方向ⓐに
スライドして開きます。

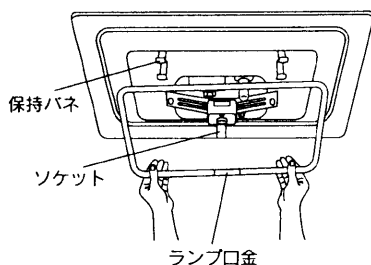
② セードの中央寄りを手で支え、本体中央のセードアダプタ部分を
セード中央角穴にあわせて“カチッ”と音がするまでセードを
まっすぐに押し上げます。

⚠注意	セードアダプタのツメが確実に取り付いていることを確認してください。 取り付けが不十分ですと、落下してけがの原因となります。

③化粧フタを矢印の方向ⓑにスライドして閉じてください。

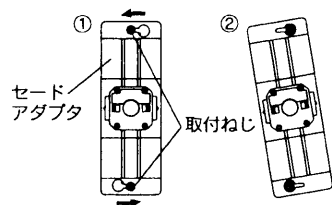
■セードのはずしかた

① セード中央の化粧フタ矢印部分を押しながら、矢印の方向ⓐにスライドして開きます。

② セードの中央寄りを両手で確実に支え、セードアダプタ中央の赤いボタンを押してセードをはずします。

■ランプの交換

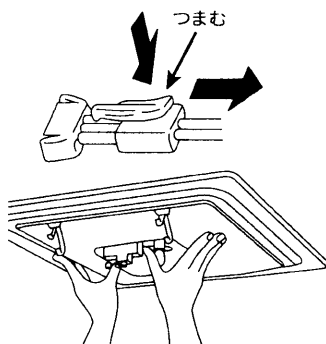
●ランプの構造上、ランプ口金付近のガラス管が少し黒くなったり、光が弱くなりましたら早めに交換してください。
ランプ交換の際は、適合ランプ（東芝蛍光ランプ・ネオスリムＺスクエア）をご指定ください。

小さいランプからはずしてください。
① ソケット
② 保持バネ
の順で取りはずします。

■器具のはずしかた

1．セードをはずす
（上記参照）

2．セードアダプタをはずす

① 取付ねじをドライバーなどでゆるめます。
（取付ねじを取りはずす必要はありません。）
矢印の方向にセードアダプタを回転させます。

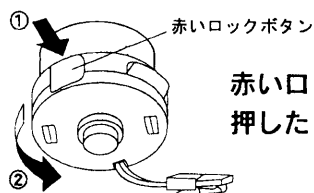
② セードアダプタを照明器具より取りはずします。

3．本体をはずす

① アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。
※コネクタをつまみながら引き抜いてください。

② 両手で本体を押しながら中央にある電源アダプタの丸い赤いボタンを押してください。

⚠注意	本体は必ず両手でおさえながら、はずしてください。 本体をおさえないで本体をはずすと、本体が落下してけがの原因となります。

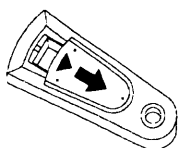
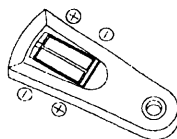
4．アダプタをはずす

赤いボタンを押したまま左に回してください。　（図2）

赤いロックボタンを①矢印方向に押したまま、②左方向に回してください。

＜生産完了 2007年10月01日＞
FSH99001R (6／8)

■器具の使い方

リモコン送信器による点灯状態切り替え方法

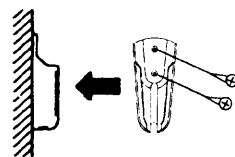
リモコン送信器に乾電池を入れてください。

① 裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

② 単4乾電池を表示に合わせて極性＋－をまちがえないようにいれてカバーを閉めてください。

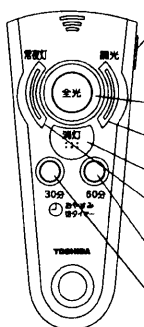
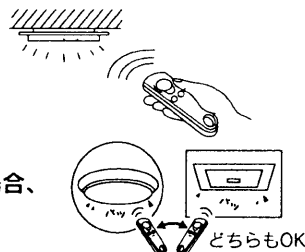
・リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回使用の場合約半年間が目安です。

ご注意
●乾電池交換の際は必ず同時に２本とも交換してください。動作不良の原因となります。
●長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、乾電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

リモコンホルダーのご使用方法

リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。
壁面に取り付けてご利用ください。

ご注意
●付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。
●リモコンを操作する際は、ホルダーから送信器を外して器具に向けてください。

リモコン送信器による照明器具の点灯状態切り替え方法

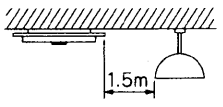
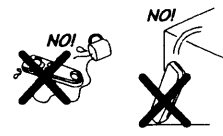
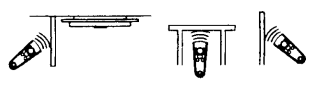
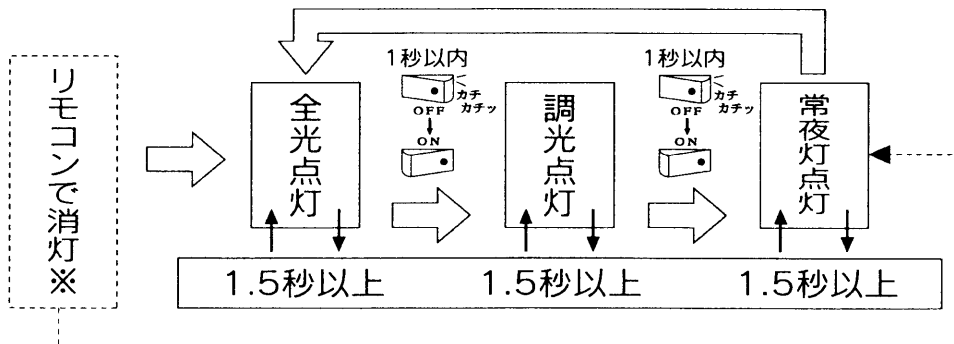
・リモコン送信器を照明器具に向けて、お好みのボタンを軽く押してください。
照明器具内のブザーが“ピッ”となってお好みの点灯状態に切り替えられます。
・2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器より行えます。
それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル1・チャンネル2と個別に設定した場合、リモコン送信器と同じチャンネルの照明器具のみが動作します。

チャンネルスイッチ
(2台の器具を操作するときに使います)
・このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。
全光ボタン(100%点灯します)
調光ボタン(調光点灯します)
消灯ボタン
常夜灯ボタン
60分OFFタイマーボタン(60分後に消灯します)
30分OFFタイマーボタン(30分後に消灯します)

OFFタイマーモードについて

30分OFFタイマー ・ボタンを押すとピピッと2回鳴り、約30分後に消灯します。

60分OFFタイマー ・ボタンを押すとピピピッと3回鳴り、約60分後に消灯します。

※OFFタイマーモード中にOFFタイマーボタン以外のボタンを押すと解除されます。
※OFFタイマーモード中にOFFタイマーボタンを押すと、オフタイマーカウントがリセットされ再度OFFタイマーがセットされます。

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

・プルスイッチレス機能・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電流遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。

※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると常夜灯点灯になります。(--->)

(ご注意) 1個の壁スイッチで2台以上のプルスイッチレス機能を操作することは避けてください。同時に切り替わらない場合があります。

<生産完了 2007年10月01日>
FSH99001R (7／8)

■リモコン使用上のご注意

●付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
●リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
●リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。
長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
●インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。

●リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因となります。

NO!　NO!

●リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。

●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
●この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
●天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
●点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
●リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

■故障ではありません

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらき、次のような現象となり正常点灯しません。
電源を切ってすみやかにランプを交換してください。（ランプ交換した後、点灯切り替えを行って再点灯してください。）
1. 寿命となったランプが消灯し、残るランプが全光点灯になる。
2. 寿命となったランプが消灯し、残るランプが調光点灯になる。
3. すべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯する。
●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●調光点灯の状態で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチでONにすると、いったん全光点灯になった後、調光点灯となります。また消灯もしくは常夜灯点灯からリモコン送信器で調光点灯にする場合は、いったん全光点灯になった後、調光点灯になります。
●器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願い致します。

■お手入れのしかた

・常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
●器具の汚れ（ホコリや虫など）は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。

ご注意 ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、変質、破壊の原因となります。

⚠注意	ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■お客様メモ

購入年月日　　　　年　　　月　　　日

東芝ホームライティング株式会社　〒101-0021 東京都千代田区外神田一丁目8番13号（東芝秋葉原ビル1階）

<生産完了 2007年10月01日>
FSH99001R（8／8）